

通所型サービスb：つながるんるんサロン  
—みんなでお昼ごはんを食べよう！—

事業名：豊島区介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスB

受託団体：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

ワーカーズコープは、働く人びとや市民がみんなで出資し、経営にみんなで参加し民主的に事業を運営し、責任を分かち合っ、人と地域に役立つ仕事を自分たちでつくる協同組合です。

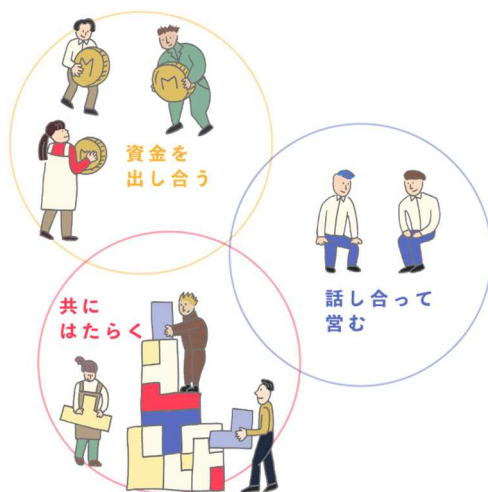
働く人たち、サービスを利用する利用者や家族、地域に住む人たちと“協同”しながら、みんなで事業を運営します。そして、意見を出し合い、話し合いをしながら、新しい仕事や地域活動に挑戦します。

みんなで協同し、「ともに生き、ともに働く」社会をつくる『協同労働』を地域のみなさんに伝え、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

この協同労働の働き方は就労形態や就労時間を自分たちで決められます。就労に困難を抱える方やまだまだ働きたいシニア世代もそれぞれの能力に合わせて多様な就労の機会をつくる事が出来ます。広島県は「協同労働プラットフォーム事業」を平成26年から開始し（平成26年～令和3年はモデル事業）シニア世代を中心に、地域課題を解決するために仕事を立ち上げることを支援しています。既に30を越えるシニア世代を中心とする団体が誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けて活躍しています。

労働者協同組合法 —令和4年10月1日施行—

1. 組合員が出資すること
2. その事業を行うに当たり組合員の意見が適切に反映されること
3. 組合員が組合の行う事業に従事すること



(目的)

第一条 この法律は、各人が生活との調和を保ちつつその意欲及び能力に応じて就労する機会が必ずしも十分に確保されていない現状等を踏まえ、組合員が出資し、それぞれの意見を反映して組合の事業が行われ、及び組合員自らが事業に従事することを基本原理とする組織に関し、設立、管理その他必要な事項を定めること等により、多様な就労の機会を創出することを促進するとともに、当該組織を通じて地域における多様な需要に応じた事業が行われることを促進し、もって持続可能で活力ある地域社会の実現に資することを目的とする。

## 受託の背景

### ・ 受託団体の概要

ワーカーズコープは 40 年の歴史を持つ協同組合です。介護保険事業や子育て支援事業、若者サポートステーション、困窮者の自立支援事業など主に福祉につながる事業を中心に活動してきました。働く人が出資し、仕事をおこし、地域課題の解決に向き合う協同労働の協同組合として誰もが住みよい、共に生き、共にはたらく地域づくりを目指してきました。

おかげさまでこの働き方を支える労働者協同組合法が 2020 年 12 月成立。2022 年 10 月に施行され、新たな労働者協同組合が全国に 40 団体（2023 年 4 月 1 日現在）設立しています。

さて、仕事おこし、地域づくりの協同組合として全国にある事業所は事業活動に留まらない子ども食堂やフードバンク、フードパントリー、制服バンク、など地域活動を通して地域の方々となつがり、誰もが住みよい地域づくりを進めています。

### ・ 本部の地域活動として

東京豊島区池袋にある本部でも 8F 食堂スペースを開放し多世代の居場所を作りたいと考えていました。子ども食堂を開催し（コロナ禍でお休み中）、地域のたくさんの親子が参加し賑やかに食べて、おしゃべりして楽しい時間を過ごしました。

「つながるんるんサロン」の前身は豊島区補助金事業の「食彩いきいきサロン」です。これは東京中央事業本部コミュニティーパル新宿中野事業所が担当し、本部は場所を貸していたのですが、この事業の終了後、利用者さんからもっと続けたいという声上がり自主的なサークルとして活動していました。みなさんから「こんなことをやりたい」と意見があがりました。「働きたい」「旅行したい」「歌を唄いたい」みんなの思いが溢れました。

組合員食堂で働き始めた方も居ますし、子ども食堂をお手伝いする方、読み聞かせをする方、おもちゃの清浄をする方。人の役に立ちたいと活動が広がりました。

そんな折、つながるサロン登録の話があって参加を決め、支え合いの地域づくりへまた一歩踏み出しました。制度を活用することで支援の必要な利用者さんに出会い、ケアマネージャーや地域包括センターとなつがり、利用者さんの生活の様子も必要な場合に知ることが出来ます。支援の必要な方、元気高齢者、その他多様な方々が出会う居場所はフレイルの予防はもちろんのこと、自分たちが決めた出番や役割は利用者さんの「生きがいがづくり」につながっています。

### ・ 昼食を共にする働く仲間

仕事をしていると地域との関係は希薄になってしまいますが、介護予防を何気ない日常生活の中に位置づけた多世代コミュニティに参加し、誰もが参加しやすい「支え合いの地域づくり」を実感していると思います。

### ・ これから

残念ながら 2020 年以降コロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言下ではお休みをし、宣言が明けたら開催することの繰り返しでしたが、利用者さんが開催時には喜んで来てくださる様子に元気を頂きました。これからも、「自分たちがやりたいことを決めて、自分たちで実行」していくことや、利用者さんがその

お家で自分たちのミニサロンを開催する、地域にミニサロンが広がることを目指したいと思っています。

## 事業活動の内容

2019年4月開始

【場所】：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 統合本部8F 組合員食堂

【日時】：毎週火曜日 12時～14時

【費用】：ランチ代 500円/1食

【特徴】：

楽しく食事を召し上がっていただけるよう、季節の食材を使ったお料理や郷土料理、世界の料理など、栄養面や見た目もよいメニューを提供しています。調理師が毎回工夫を凝らした温かい料理をお出ししています。組合員食堂ですから組合員はもちろんのこと、学生ボランティアとの交流もあり、食事の後は、おしゃべりしたり、簡単な体操や裁縫をしたり。のんびり、気ままに過ごせるサロンです。

豊島区は独居の高齢者が多い地域性があり、孤食の方の栄養を補うことや、週に一度でも出かける場所があるのは生活に張りを持っていただけたらと思います。利用者さんは女性が多く、おしゃれの話になったりします。ワンピースやスカーフ、ちょっと華やぐことも大切な事だと思います。

また、アクティブな方が多く、食後に次の集まりに行く方もおられますが、お手玉やアクリルたわしづくりといった裁縫をしたり、おしゃべりに興じたり、思い思いに過ごしています。

別の自主サークルで「手仕事の会」（毎週月曜日）がありますが、そちらへ参加される方も居て、つながりが広がっています。

長期休業中の大学生、高校生のボランティア参加もまさに異世代交流で楽しい時間を過ごされています。

利用者さんの活動の様子はそれぞれお住いの豊島区高齢者相談センター（8か所）に報告し、豊島区と共有しています。小さな変化でも見逃さずお伝えすることで、いつまでも生き生きと地域で生活できることをサポートしたいと思います。



楽しいおしゃべり



ピアノに合わせて歌います



おもちゃの清浄



川越に遠足も行きました

## 関連事業（豊島区との連携）

☆ みんなのふくろう食堂

コロナ前の子ども食堂に来ていたご家族のうち、一人親家庭と困窮家庭の40軒に月1回お弁当と食品の配布をしています。

☆ フードパントリー

月1回フードパントリーを実施。豊島区から送られてきた名簿に基づき、食品・食材を準備し、お渡ししています

# ワーカーズコープで活性化する地域コミュニティ



② 宮城県登米市 (p8-9)  
田んぼの楽校プレーパーク



① 北海道札幌市 (p6-7)  
「和氣藍々」の外観



④ 千葉県船橋市 (p12-13)  
子ども食堂の様子



③ 埼玉県ふじみ野市 (p10-11)  
機能訓練の一環で干し柿作り



⑥ 愛知県豊田市 (p16-17)  
ケアセンターほみの初任者研修修了式



⑤ 東京都新宿区 (p14-15)  
TDU・雫穿大学の美術講座の様子



⑧ 兵庫県尼崎市 (p20-21)  
押しチャリピック集合写真



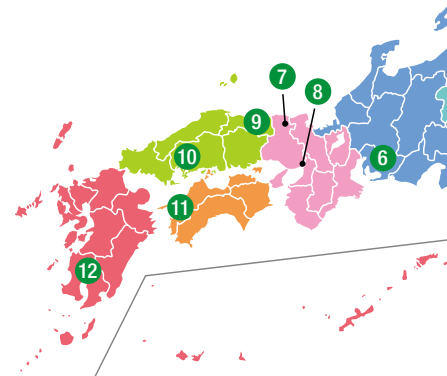
⑦ 兵庫県豊岡市 (p18-19)  
森林整備の作業



⑩ 広島県広島市 (p24-25)  
アグリアシストとの活動



⑨ 鳥取県鳥取市 (p22-23)  
しいたけ栽培の様子



⑫ 鹿児島霧島市 (p28-29)  
たくさんの参加者があった子ども食堂



⑪ 愛媛県西予市 (p26-27)  
会社の看板を囲むスタッフ